

令和7年第2回定例教育委員会会議議事録

会議室601・602

令和7年2月14日(金)

15時35分～16時30分

出席委員

教 育 長

安 原 敏 光

教育長職務代理者

高 橋 正 明

委 員

小 野 武 也

委 員

京 楽 千恵美

委 員

蔭 地 美 紀

事 務 局

教育部長

石 原 洋

次長兼教育振興課長

景 山 泰 良

学校給食課長

紙 田 敬 久

学校教育課長

山 森 一 徳

次長兼生涯学習課長

門 康 樹

スポーツ振興課長

折 野 由 紀

文化課長

中 川 卓 司

書記 教育振興課総務企画係長

大 村 寿 行

書記 教育振興課主任

藤 田 崇 文

議	題
三教委報第2号	令和7年第2回市議会定例会に提出する教育委員会関係議案に対する意見聴取に係る臨時代理の承認について（公開）
三教委報第3号	県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について（非公開）

安原教育長 令和7年第2回定例教育委員会会議を始める。

本日の議事録署名委員は、京楽委員と蔭地委員にお願いする。

それでは、令和7年第1回定例教育委員会会議の議事録の朗読を簡潔にお願いする。

書記（令和7年第1回定例教育委員会会議の議事録を簡潔に朗読）

安原教育長 議事録を承認してよろしいか。

（一同承認）

安原教育長 議事録の承認については、以上である。

安原教育長 それでは、議事に入る。本日の報告事項のうち「三教委報第2号」を公開とし、それ以外は人事案件であり、公開になじまないため、非公開として審議したいと思う。審議の順については、次第に沿って行いたいと思うが、よろしいか。

（一同承認）

安原教育長 それではそのように取り扱う。それでは「三教委報第2号」について、事務局から説明願う。

景山次長兼教育振興課長 3-1 ページ三教委報第2号「令和7年第2回市議会定例会に提出の教育委員会関係議案に対する意見聴取に係る臨時代理の承認について」説明します。令和7年2月17日に開会予定の令和7年第2回市議会定例会に議案として提出する教育委員会関係議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により市長から意見を求められ、三原市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条の規定により、同意する旨を回答することについて、臨時に代理したので、報告し承認を求めるものです。提出の議案は（1）令和7年度三原市一般会計予算のうち、教育委員会関係部分、（2）令和6年度三原市一般会計補正予算のうち、教育委員会関係部分、（3）三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例の一部改正について、（4）三原市過疎地域持続的発展計画の変更について、（5）財産の取得についての5件です。

まず、（1）について説明します。三原市全体の令和7年度の一般会計予算額は合計544億6,800万円です。令和6年度が520億5,200万円でしたので、増減額はプラス24億1,600万円で、約4.6%増となっています。このうち、教育委員会関係予算につきましては、令和7年度予算として62億533万9,000円を計上しており、令和6年度予算が56億9,802万4,000円でしたので、増減額はプラスの5億731万5,000円で約8.9%増となっています。それでは、教育委員会に関係する部分について説明します。3-4から3-15ページまで、施策別の予算審議資料の抜粋版を添付しています。3-5ページから長期総合計画の基本目標2「三原で生まれ育ち、学んで良かったと思えるまち」のうち、施策名「2-2-1 学校教育・就学前教育の充実」に関するもので、基本方針の①から⑤の5点を掲げ、予算額は18億5,623万円を計上しています。次に、3-8ページは施策名「2-2-2 教育環境の整備・充実」についてで、基本方針は2点、予算額は13億7,557万8,000円です。次に、3-9ページは施策名「2-3-1 生涯学習の振興」に関するもので、基本方針は1点、予算額は7億3,578万7,000円です。次に、3-10ページは施策名「2-3-2 青少年の健全育成」に関するもので、基本方針は2点、予算額は2,867万8,000円で

す。次に、3-11ページは施策名「2-3-3 文化・芸術の振興」に関するもので、基本方針は1点、予算額は1億8,757万6,000円です。次に3-12ページから3-13ページまで施策名「2-3-4 スポーツの推進」に関するもので、基本方針は3点、予算額は12億1,250万4,000円です。次に、3-14ページから3-15ページまでは長期総合計画の基本目標5「『三原らしさ』を存分に活かし人々が交流するまち」のうち、施策名「5-3-1 歴史・文化財の保存・活用」に関するもので、基本方針3点を掲げ、5,115万5,000円を令和7年度の当初予算としています。続きまして、3-16ページからは、目的別の予算審議資料を抜粋して添付しています。3-17ページから3-22ページについては、三原市全体の投資的経費に関する資料です。3-17ページは補助事業に関するものが掲載されています。教育委員会の関係は「学校施設整備事業（小学校長寿命化）」から「教材備品整備事業（学習者用 I C T 端末更新（中学校）」までです。3-19ページからは、三原市の単独事業が掲載されています。教育委員会関係は、3-21ページの「学校施設整備事業（小学校長寿命化）」から「北方コミュニティセンター空調設備更新事業」までです。続いて、3-23ページからは、一般会計予算節別調で、教育費については、3-24ページに掲載しています。続いて、3-25ページからは、三原市が補助する側の事業に関するもので、3-30ページに教育委員会関係事業が掲載されています。教育費の教育総務費から保健体育費までが教育委員会が所管している補助事業です。続いて、3-32ページから3-43ページは個別の事業ごとの説明を掲載しています。一般会計予算についての説明は以上です。

続いて、（2）令和6年度三原市一般会計補正予算のうち、教育委員会関係部分について説明します。3-44ページから3-49ページまでが補正予算の関係です。表中のマイナスとなっているものが、当初見込みより利用が少なかったことによる執行残、又は工事の入札執行残などが見込まれるものについての減額補正です。続きまして、増額となっているものについて説明します。3-47ページ歳出について、4項幼稚園費、1目幼稚園費、18節負担金補助及び交付金の856万1,000円は令和6年度公定価格が改正されたことに伴い、施設型給付金を増額するものです。3-48ページ4項幼稚園費、2目認定こども園費、18節負担金補助及び交付金の1,775万8,000円については、先ほどと同様に令和6年の公定価格が改正されたことに伴う増額補正になります。続きまして、同じページの5項社会教育費、2目リージョンプラザ費から次ページの6項保健体育費、4目白竜湖スポーツ村公園費までの12節委託料、指定管理委託料の各増額につきましては、光熱費単価の高騰により、令和6年度における指定管理者制度導入施設の収支に赤字が見込まれる指定管理者に対し、指定管理料を増額することにより、事業運営を支援するための増額補正になります。続きまして、3-50ページには繰越明許費補正の追加を掲載しています。5項社会教育費で2件になります。上段の施設維持管理事業（リージョンプラザ）の1億3,410万円は、令和6・7年度の2か年で実施する長寿命化改修工事についての予算です。令和6年度当初で債務負担行為を設定した事業について、繰越明許費補正をするものです。下段の施設維持管理事業（北方コミュニティセンター）は、空調機の更新についての予算です。上段と同様に令和6・7年度の2か年事業で、令和6年度当初で債務負担行為を設定した事業について、繰越明許費補正をするものです。

続きまして、（３）三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例の一部改正について説明します。本案は、三原市歴史民俗資料館を移転することに伴い、施設の位置を変更するため、この条例案を提出するもので、三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例第２条の表、三原市歴史民俗資料館の項中の「三原市円一町二丁目３番２号」を「三原市館町二丁目５番２号」に改めるものです。

続きまして（４）三原市過疎地域持続的発展計画の変更について説明します。この案につきましては、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第８条第１０項の規定において準用する同条第１項の規定により、計画を変更することについて、議会の議決を求めるものです。３－５３ページの表の変更後の欄に「白竜湖スポーツ村公園に、ソフトボール全国大会開催のための備品を整備する」、また３－５４ページの表の変更後の欄に「宇根山家族旅行村（宇根山天文台）天体望遠鏡の修繕を行う」を加えています。この２事業につきましては、それぞれ令和７年度予算に計上して、実施する予定です。

続きまして、３－５５ページ（４）財産の取得について説明します。この案は、三原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第３条の規定により、次の財産を取得することについて、議会の議決を求めるものです。本件については、令和６年１２月定例会において、市立中学校の指導者用デジタル教科書及び教師用指導書等の購入について、令和７年４月から学習指導ができるよう令和６年度中に契約するため、債務負担行為の設定について議決を得たものです。取得する財産は、指導者用デジタル教科書（指導書同梱）９校分です。主な仕様は、中学校各学年及び各教科の指導者用デジタル教科書（指導書同梱）です。取得価格は２,４４３万３,７５０円で、予定価格が２,０００万円以上であるため、議会の議決を求めるものです。

安原教育長 説明を受けた。何か質問や意見はあるか。

高橋委員 教育関係予算が約５億円増えている主な理由は何か。

景山次長兼教育振興課長 お調べして、後ほどお伝えします。

安原教育長 それでは、暫時休憩とする。

１６時０５分休憩

１６時１０分開議

安原教育長 休憩前に引き続き、会議を再開する。

景山次長兼教育振興課長 予算が増えている主な要因について説明します。３点あります。１つめは、３－３７ページに記載している児童生徒のＩＣＴ端末を購入する予算３億５,４００万円です。２つ目は３－４０ページのリージョンプラザ長寿命化改修事業の令和７年度事業３億８,９５０万円です。３つ目は３－４１ページ中央公民館の長寿命化改修事業２億２,７７０万円です。減額になっている事業との差し引きの関係で５億円ちょうどにはなりません、令和６年度と比較して、新たに加わった大きな事業はこちらの３つです。

小野委員 ＩＣＴ端末の更新について、昨今、デジタル教科書が有効かどうか、紙の教科書の良さもあるのではないかという議論が報道でも取り上げられているが、予算計上

する際に、そのような点が検討されているのかを知りたい。

山森学校教育課長 子どもたちが使用する教科書については、紙が良いかデジタルが良いかという議論があります。いくつかの教科では子どもたちにデジタル教科書を配布していますが、基本的には紙の教科書を使って、授業を進めているところです。この度購入するものは、教員が使用する指導者用のデジタル教科書です。例えば教員はこれまで、教科書に掲載されているグラフを拡大コピーして黒板に貼っていましたが、指導者用デジタル教科書を使うと、大型提示装置（大型テレビ）に映すだけで簡単に拡大することができます。またグラフを経年比較したり、グラフ同士をクロスして表示することができますので、教材研究・教材準備の手間が省けます。このことから小学校には昨年、全教科導入しましたので、中学校も導入するものです。

小野委員 今の話は指導者用デジタル教科書のことだと思うが、学習者用ＩＣＴ端末の更新について聞きたい。紙の教科書が良いかデジタル教科書が良いかの議論がある中で、例えば紙の教科書に戻すのであれば、端末が不要になることも想定されると思うが、どのように考えているか。

山森学校教育課長 ＩＣＴ端末には、デジタル教科書を入れることもできますが、文書作成ソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなど、子どもたちは様々なアプリケーションを使って授業に取り組んでいます。そのため、ノート等と一緒に、授業に必要な道具として児童生徒用の端末の更新を進めるものです。

安原教育長 そのほか、何か質問や意見はあるか。

（なし）

以上で本件の審議を終わり、採決に移る。「三教委報第２号」について承認することに異議はないか。

（異議なし）

安原教育長 全員賛成と認める。よって「三教委報第２号」は承認された。ここからは非公開にて審議する。

（非公開案件審議）

三教委報第３号 承認。

（非公開案件審議後）

安原教育長 以上で令和７年第２回定例教育委員会会議を終了する。

16時30分 教育委員会会議終了
傍聴者なし

上記のとおり会議の顛末を記載し、その旨相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名_____

署名_____